

# 平成 23 年度 南信州地域交通問題協議会 臨時総会 議事録

## 概要

日時：平成 23 年 6 月 27 日（月） 10:00～11:40

会場：県飯田合同庁舎 3 階 講堂

出席者：P 4

## 講演

題目：役に立つ公共交通を地域が主役となってつくり出すために～制度改正の大波にもまれることなくうまく乗りこなそう～

講師：名古屋大学大学院 環境学研究科 都市環境学専攻 准教授 加藤 博和氏

## 質疑応答

（天龍村長 大平巖委員）

・新制度では市町村で運行している路線はダメということは分かった。私どもは市町村単独でやっている。お金がほしいから新しい制度に取り組むのではないが、弱小自治体においては少しでも財政負担が軽減になれば助かる。今後も制度がこのまま進むのか。

（加藤准教授）

・まず、新制度の取り組みがばたばたであったところに、東日本大震災があった。不十分であることやその経緯もわかっている。

・H24 については東日本大震災がなければもっと見直しができたのではないかと思う。今回、震災があったことにより、この予算が震災予算に切り替わるのを危惧している。当然、震災を助けることは大切であると思うが、この地域公共交通の制度は違うといろいろなところに申している。

・いろいろなことをやりながら、本来この制度はしくみがどうあるべきか問いかけていきたいと思っている。

・H23 は総額 3 0 5 億円であったが、多くの地域が手を上げたためその額は多く無い。

・活性化再生事業は H23 をもって終了することから、新しくどういうふう to それぞれの地域に必要なものを配置していくかこれから議論される予定である。

・これから話をしながら地域に必要な部分が担保できるよう努めていきたい。

（天龍村長 大平巖委員長）

・市町村にバスが無いところに路線を引いたところへの支援である。私どもの地域は民間の運行事業者が撤退し市町村がバスを引いている。そういったところにも支援をお願いしたい。

## 協議事項

- ・地域公共交通確保維持改善事業（新制度）について 資料1
- ・南信州地域における組織の運営体制について 資料2

## 協議事項内容

（天龍村長 大平巖委員）

- ・連携計画をもとに今まではバラバラに地区で取り組んできた。今回、協議会が全体で取り組んでいく姿勢が見えた、そういった姿勢ととれる。地形の問題などいろいろあるが地域一体となった取り組みを期待している。感謝申し上げたい。

## 議事 資料3

- (1) 議長の選任
- (2) 議事録署名人の選任について
- (3) 第1号議案 平成22年度事業報告について
- (4) 第2号議案 平成22年度決算報告について
- (5) 第3号議案 平成23年度事業計画（案）について
- (6) 第4号議案 平成23年度補正予算（案）について
- (7) 第5号議案 役員の改選について
- (8) 第6号議案 生活交通ネットワーク計画について
  - ・飯田市生活交通ネットワーク計画 資料4
  - ・松川町生活交通ネットワーク計画 資料5

## 議事内容

- (1) 議長の選出について
- (2) 議事録署名人の選任について
  - ・議事(1)～(2)について、議長の任を受けた牧野市長により進行。
  - ・議事録署名人については、喬木村阿阿島区長・区長会長 原 光一郎委員と長野県タクシー協会飯田下伊那支部長 村澤 文彦委員の2名を指名した。
  - ・質疑応答等は特になかった。

## 議事内容：

- (3) 第1号議案：平成23年度事業計画（案）及び(4)第2号議案 平成22年度決算報告について
  - ・関連する議事(3)、(4)について、南信州地域交通問題協議会事務局一柳より説明。
  - ・内容に関する質疑応答は特になかった。
  - ・議案の通り、承認された。

(5)第3号議案 平成23年度事業計画(案)及び(6)第4号議案 平成23年度補正予算(案)について

- ・関連する議事(5)、(6)について、南信州地域交通問題協議会事務局一柳より説明。
- ・内容に関する質疑応答は特になかった。
- ・議案の通り、承認された。

(7)第5号議案 役員の改選について

- ・議事(7)について、南信州地域交通問題協議会事務局一柳より説明。
- ・内容に関する質疑応答は特になかった。
- ・議案の通り、承認された。

(8) 第6号議案 生活交通ネットワーク計画について

- ・議事(8)について、飯田市及び松川町の報告の前に南信州地域交通問題協議会事務局一柳より説明。

(加藤准教授)

松川町生活交通ネットワーク計画について4点確認したい。

松川町地域公共交通対策協議会は平成21年度からの計画事業。本来は平成21～23年度の3年使えたはずであったが、2年だと決めていた。平成23年度は地域公共交通活性化・再生総合事業を使わず、その代わり新制度を活用するといったことが全く分からないので経緯を示すこと。

協議会の開催状況と主な議論について、生活交通ネットワーク計画の承認を受けた部分でいつどこでという記載がない。

(松川町 総務課 酒井係長)

- ・5月9日 総会を実施
- ・6月10日 書面決議の送付
- ・6月13日 賛成反対の意志確認(決定)

運行事業者名について松川町地域公共交通対策協議会ではないのではないか。また、補助は事業者が受けるので事業者が申請することになる。

(松川町 総務課 酒井係長)

- ・伊那バスに訂正

伊那バスの選定の透明性について(協議されているか)

(松川町 総務課 酒井係長)

- ・協議済み
- ・議案の通り、承認された。(加藤准教授の指摘を受け、訂正し提出する)

以上

南信州地域交通問題協議会 臨時総会 (H23.6.27) 出欠名簿

(敬称略)

区 分	所属団体等	委員名		代理出席者名	出欠
		役 職	氏 名		
公共交通利用者 (一般住民)	飯田市地域公共交通改善市民会議	座光寺地域自治会	湯澤 英 範		
	飯田市地域公共交通改善市民会議	飯田市高齢者クラブ連合会	村 松 有 光		×
	喬木村	阿島区長・区長会長	原 光 一 郎		
	高森町	牛牧区長	原 弘		
	根羽村	住民代表	樋 口 明		
	阿智村	智里西自治協議会・会長	洪 谷 章 行		×
	売木村	住民代表	渡 邊 久 美		×
	阿南町	阿南町老人クラブ連合会・会長	勝 又 和 治		×
環境団体	地域ぐるみ環境 I S O 研究会	会長	萩 本 範 文	事務局 沢柳俊之	
福祉事業者	社会福祉法人 飯田市社会福祉協議会	会長	山 内 章 圭		×
学校関係者	下伊那地区高等学校長会 (飯田工業高校長)	会長	篠 田 宏		
商工関係者	飯田商工会議所	会頭	柴 田 忠 昭	事業課長 熊谷秀樹	
	長野県商工会連合会下伊那支部広域協議会	会長	秦 和 陽 児		
公共交通事業者	東海旅客鉄道(株)飯田支店	支店長	日 向 聖 一	主任 宮沢和明	
	信南交通(株)	社長	中 島 一 夫		
	伊那バス(株)	社長	藤 澤 秀 敬	管理課長 福澤信義	
	長野県タクシー協会飯田下伊那支部	支部長	村 澤 文 彦		
	大新東(株)北陸・信越支社	支社長	木 下 宏	長野担当課長 下沢義光	
公安委員会	飯田警察署	署長	春 日 利 巳	交通課 規制・免許係長 北原経夫	
	阿南警察署	署長	宮 下 辰 男		×
学識経験者等	広域連合議会	議員	原 和 世		
	広域連合議会	議員	坂 巻 博 文		
	名古屋大学大学院	環境学研究科 都市環境学専攻 准教授	加 藤 博 和		
道路管理者	国土交通省飯田国道事務所	所長	杉 井 淳 一	技術(管理)副所長 高木進	
	長野県飯田建設事務所	所長	三 井 宏 人	維持管理課長 柳瀬勝弘	
行 政	下伊那地方事務所	所長	久 保 田 篤	課長補佐 林俊秀	
	飯田市	市長	牧 野 光 朗		
	松川町	町長	深 津 徹		
	高森町	町長	熊 谷 元 尋		×
	阿南町	町長	佐 々 木 暢 生		×
	阿智村	村長	岡 庭 一 雄	総務課主査 山田正人	
	平谷村	村長	小 池 正 充	総務課長 塚田浩	
	根羽村	村長	大 久 保 憲 一		
	下條村	村長	伊 藤 喜 平		
	売木村	村長	松 村 増 登		×
	天龍村	村長	大 平 巖		
	泰皇村	村長	松 島 貞 治		
	喬木村	村長	大 平 利 次		
	豊丘村	村長	下 平 喜 隆		
	大鹿村	村長	柳 島 貞 康	産業建設課長 吉田敏彦	×
	南信州広域連合	広域連合長	牧 野 光 朗		(再掲)
	オブザーバー	北陸信越運輸局 長野運輸支局	首席運輸企画専門官	原 多 美 子	
県企画部交通政策課		課長	小 林 透	交通政策課 稲玉稔	
飯田市 企画課		係長	木 下 一		
飯田市 企画課		主査	村 下 真 一		×
松川町 総務課		課長	高 坂 竜 夫		
松川町 総務課		係長	酒 井 仁		